

頼れる主治医になるための 高齢者診療のコツを 各科専門医が教えます

contents

序	木村琢磨, 松村真司	3
本書の構成		12

序章 “頼れる主治医” として高齢者を診る際の心得

1. 高齢者に専門診療科を紹介するか否かの判断	木村琢磨	16
2. 高齢者に専門診療科を受診してもらう前に主治医が行うべきこと	木村琢磨	18
3. 患者紹介のために知っておくべきこと	齋藤雄之	20
4. 臨床を行う施設の規模と紹介基準	齋藤雄之	22
5. 患者紹介のタイミングとガイドライン	寛 孝太郎	24
6. 患者・家族と紹介のニーズが一致しないとき	今永光彦	26
7. 診療情報提供書（紹介状）の書き方	山寺慎一	29
8. 日常診療において非専門領域の省察をすること	北西史直	31

各科専門医が教える高齢者診療のコツ

第1章 眼科的問題

1. 目やにがひどく、充血している 眼の眼脂・充血・痒痒	外山哲也／草野良明	34
2. 目やにが多く、涙がよく出る 流涙・眼脂	外山哲也／草野良明	38
3. 頭痛、吐き気があり、眼が充血している 頭痛を伴う赤眼	外山哲也／草野良明	40
4. 突然目が見えなくなった 急性発症の視力障害	外山哲也／草野良明	42
5. 眼が腫れて痛みがある 眼瞼の腫脹・発赤	外山哲也／草野良明	44

6. 目がチラチラしてモノが歪んで見える	飛蚊症・歪視	外山哲也／草野良明	46
7. 逆さまつげ	睫毛内反	外山哲也／草野良明	48
8. 眼がかゆい	アレルギー性結膜炎	外山哲也／草野良明	50
9. 「眼科で処方されていた目薬を出してほしい」と言われた	点眼薬の処方と選択	外山哲也／草野良明	54
10. 眼の手術を受けるが薬を続けてよいのか	抗凝固薬・抗血小板薬に関する考え方	外山哲也／草野良明	56

Column

① 白内障手術のタイミング	草野良明	37
② 眼科医から伝授する、「最近よく見えないんですが」と患者や家族から聞かれたときの対応	草野良明	53

第2章 皮膚科的問題

1. 赤い皮疹ができた	発疹がある	石川純也／佐藤友隆	58
2. 赤い痒みのある発疹が全身にできた	全身の発疹	石川純也／佐藤友隆	62
3. 顔に黒いデキモノができた	皮膚の結節	石川純也／佐藤友隆	64
4. 陰部がかゆいんです	陰部の瘙痒	石川純也／佐藤友隆	66
5. 水虫ができた	白癬が疑われるとき	石川純也／佐藤友隆	68
6. 水疱ができた	類天疱瘡	石川純也／佐藤友隆	70
7. 巻き爪が痛い	陥入爪	石川純也／佐藤友隆	72

Column

③ 皮膚科医から伝授する、発疹はないのに身体がかゆいという高齢者への対応	佐藤友隆	61
--------------------------------------	------	----

第3章 婦人科的問題

1. 認知症を伴う高齢者に茶褐色の帯下が出現	茶褐色の帯下	今永光彦／倉澤剛太郎	74
2. 陰部にかゆみと痛みがある	カンジダ陰炎をくり返す患者	今永光彦／倉澤剛太郎	76
3. 子宮留膿腫の患者、婦人科コンサルトはどのようなときに？	子宮留膿腫	今永光彦／倉澤剛太郎	78

4. 子宮脱をくり返す高齢女性 **骨盤臓器脱** 今永光彦／倉澤剛太郎 80

Column

- ④ 産婦人科医から伝授する、高齢者子宮がん検診に関する考え方 倉澤剛太郎 83

第4章 整形外科的問題

1. ベッド脇で動けなくなった **高齢者に多い骨折と受傷機転** 新森加奈子／仲田和正 84
2. カッターナイフで指をきった **手指切創の処理** 新森加奈子／仲田和正 88
3. 休み休みにしか歩けない **腰部脊柱管狭窄症** 新森加奈子／仲田和正 90
4. 急に腰が痛くなった。ぎっくり腰？ **急性腰痛症** 新森加奈子／仲田和正 92
5. 肩が痛くて挙げられない **肩関節周囲炎** 新森加奈子／桜井 隆 94
6. 手にながができた？ **ばね指・ガングリオン** 新森加奈子／仲田和正 96
7. 足をひねった **足関節捻挫** 新森加奈子／仲田和正 98
8. 骨粗鬆症が心配 **骨粗鬆症のフォロー** 新森加奈子／桜井 隆 100
9. 腰の痛みが続く **慢性の腰痛** 新森加奈子／桜井 隆 102
10. 手を骨折したかもしれないのでソフトシーネを巻く
Colles骨折 新森加奈子／仲田和正 104
11. 膝が痛いので注射をしてほしい **変形性膝関節症** 新森加奈子／桜井 隆 106

Column

- ⑤ 整形外科医から伝授する、高齢者の大腿骨近位部骨折における手術適応の考え方
..... 仲田和正 87

第5章 耳鼻咽喉科的問題

1. 歩くとフラフラする **慢性の非回転性めまい感** 木村琢磨／小川茂雄 108
2. 家族から難聴といわれているが、本人は補聴器を希望しない
難聴への対応 木村琢磨／小川茂雄 110
3. 何年も耳搔きをしていません **耳垢栓塞** 木村琢磨／小川茂雄 112
4. 鼻血が出て止まらない **鼻出血** 木村琢磨／小川茂雄 114
5. 耳の中がかゆい **外耳道炎** 木村琢磨／小川茂雄 118
6. 鼻水が垂れてくる **鼻炎** 木村琢磨／小川茂雄 120

Column

- ⑥ 耳鼻咽喉科医から伝授する、耳の遠いお年寄りへの接し方……………小川茂雄 117

第6章 脳外科的問題

1. ふらついて頭を打った **minor head injury**……………矢吹 拓/森 俊樹 122
2. 最近歩きにくく、物忘れもある
特発性正常圧水頭症を疑うとき……………矢吹 拓/森 俊樹 124

Column

- ⑦ 脳神経外科医から伝授する、高齢者の慢性硬膜下血腫に関するあれこれ……………森 俊樹 126
- ⑧ 頸動脈狭窄～その発症機序と治療のいま……………森 俊樹 127

第7章 外科的問題

1. 熱湯をこぼし、やけどの後、水ぶくれになった
軽い熱傷……………笈 孝太郎/土肥直樹 128
2. 胸の「しこり」が気になる **乳房のしこり**……………笈 孝太郎/土肥直樹 130
3. 間歇性跛行があるが脊柱管狭窄症の影響はないといわれた
下肢閉塞性動脈硬化症……………笈 孝太郎/土肥直樹 132
4. 手術受けたほうがいいのかどなあ… **術前検査と手術侵襲**……………笈 孝太郎/平井栄一 134

Column

- ⑨ 外科医から伝授する、高齢者における消化器手術適応の考え方……………平井栄一 137

第8章 泌尿器科的問題

1. 尿意がはっきりしないが残尿があるかもしれない
画像検査が限られる中での残尿や前立腺の評価……………今永光彦/滝沢明利 138
2. 前立腺がんの発症に気をつけながら、前立腺肥大症をどうフォローするか
前立腺肥大症のフォロー……………今永光彦/滝沢明利 140
3. 泌尿器科より引き継いだ高齢患者の前立腺がんフォロー
前立腺がんのフォローの引継ぎ……………今永光彦/滝沢明利 142
4. 尿失禁・頻尿に対して過活動性膀胱を疑ったが第一選択薬剤で効果がない
過活動性膀胱に対するアプローチ……………今永光彦/滝沢明利 144

Column

- ⑩ 前立腺肥大症の手術適応 滝沢明利 146
- ⑪ 泌尿器科医から伝授する、尿道バルーンが入りにくいときへのアドバイス 滝沢明利 147

第9章 口腔・歯科の問題

1. 食事が減ったため口腔内を診ると潰瘍ができていた
義歯不適合に気付くには 近藤秀一／吉岡美和, 海老原 務 148
2. 誤嚥性肺炎予防のため、口腔ケアの指導をしたい
口腔ケアの指導法 近藤秀一／吉岡美和, 海老原 務 150
3. 抗血栓治療中の患者から、抜歯について相談された
抜歯時の抗血小板薬・抗凝固薬 近藤秀一／吉岡美和, 海老原 務 154

Column

- ⑫ 歯科医から伝授する、歯科介入で改善しうる高齢者における口腔・歯科問題
..... 吉岡美和, 海老原 務 153

第10章 精神科的問題

1. 「眠れない」と訴えるが、家族に聞くと本当は寝ている
不眠を訴える 近藤秀一／益子雅笛 156
2. 「眠れない」と訴え、本当に眠れていない 睡眠障害 近藤秀一／益子雅笛 159
3. 夕方から落ち着きがなくなり、怒りやすくなる せん妄の判断 小林正樹／益子雅笛 161
4. 引越しをしてから元気がない 低活動型せん妄を疑うとき 小林正樹／益子雅笛 163
5. 認知症が先か？ うつ状態が先か？
元気がなく身体疾患が否定的なとき 山寺慎一／益子雅笛 166
6. 最近もの忘れが増えた 軽度の認知機能障害 (MCI) への対応 小林正樹／益子雅笛 168
7. 孤独や機能障害を抱えた高齢者 高齢者におけるうつ状態 山寺慎一／益子雅笛 170
8. 車の運転をやめさせたい 運転免許に関する判断 川崎 祝／益子雅笛 172

Column

- ⑬ 精神科医から伝授する、高齢者に対する薬物減量・中止のコツ 益子雅笛 175
- ⑭ 精神科医から伝授する、短時間でできる高齢者の認知機能スクリーニング法 益子雅笛 176

第11章 栄養・リハビリテーションの問題

1. この高齢者はいったい何ができて何ができないのであろうか
高齢者の生活・自立度を評価する 木村琢磨／森 俊樹 178
2. この患者の栄養は十分なのであろうか
高齢者の栄養状態・食事内容を評価する 木村琢磨／宮内真弓 180
3. 寝込んでから足腰が弱ってしまった
廃用症候群の予防とリハビリ 木村琢磨／森 俊樹 184
4. 患者が再び転ばないためにはどうすればよいのか
転倒リスクと予防 木村琢磨／森 俊樹 186
5. 食事内容や食べさせ方で誤嚥を減らすには
誤嚥への対応 木村琢磨／宮内真弓 188
6. 片麻痺への配慮をしたい 片麻痺患者へのリハビリ的対応 木村琢磨／森 俊樹 190
7. また口から食べたい！を実現するために
胃瘻から経口摂取にトライする 木村琢磨／森 俊樹 192

Column

- ⑮ 栄養士から伝授する、手軽に指導できる食事形態 宮内真弓 183
- ⑯ リハビリ医から伝授する、患者・家族へのかかわり方 森 俊樹 195

第12章 救急医学的問題

1. 胸骨圧迫以外に何ができるか
救急車につなぐまでの診療所での心肺蘇生 川崎 祝／鈴木 亮 196
2. 誤嚥性肺炎が軽快して退院したが急変し、家族が救急車を呼んだ
高齢者の急変についての考え方 森本泰治／鈴木 亮 200

Column

- ⑰ 脳死と臓器提供について一般臨床医が知っておくべきこと 鈴木 亮 199

索引 202